

専門委員会開催報告

専門委員会名	第1回「原子炉における機構論的限界熱流束評価技術」研究委員会
開催日時	2019年2月18日(月)14:00~17:00
開催場所	電気通信大学 西2号館 105 講義室(東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1)
参加人数	19名(大川主査、森幹事、吉田幹事、小野幹事、上澤委員、小泉委員、伊藤委員、上遠野委員、成島委員、高野委員、淀委員、小宮山委員、牧野委員、坂下委員、小林委員、高瀬委員、笹川委員、新井委員、小瀬委員)
議事	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第1回キックオフ議事次第に基づき、大川主査より挨拶があった。 2. 吉田幹事より、大学の先生への本委員会出席に関わる旅費を委員会予算から支出することについての了承について出席委員へ確認を行い、出席委員全員一致で承認された。 3. 各委員において、現在の業務・研究内容、研究委員会への意気込みなどについて自己紹介を行った。 4. 吉田幹事より、委員会の設立趣旨説明および運営方針(案)について示された。これについて、以下のような議論があった。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 本研究委員会の成果の発表として、企画セッションでの発表は平成31年9月の原子力学会が適当かどうか議論され、9月の企画セッションにて発表する方向で各委員の了承を得た。企画セッションで発表するには、5月までに企画書の提出が必要となるので、4月末までにもう一度本研究委員会の会合を行うことが決められた。 (2) 9月での企画セッションでは、本委員会の設立趣旨説明、PWR および BWR で、現状の評価方法、ニーズ、課題等を報告する形とすることを決めた。 (3) 企画セッションでの報告以外に、レビューや今後の方向性をまとめた、報告書もしくは論文を執筆することについて前向きに検討することとした。 (4) 原子力学会「二相流データベースの評価・整備」研究専門委員会の成果である二相流データベースをみなおし、我々の研究委員会の方向性をどのように系統立てるかを考える、というアプローチもあることから、次回研究委員会では、「二相流データベースの評価・整備」研究専門委員会の師岡慎一主査より、講演および本研究会に対するコメントを頂くこととした。講師依頼は、小野幹事が担当することとした。 (5) 今後の調査について、役割分担を行った。 5. 役割分担分担において、次回研究委員会では、メーカー側からのまとめの報告(1.に該当する部分)および師岡慎一主査にデータベースに関する講演、目次案について議論を行うものとし、候補日は4月最終週とする。
備考	